

一般質問発言通告書

発言順位 12番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年 6月 8日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 4番 堀江 和雄



質問事項1	三島駅南口東街区の2025年に向けて
具体的内容	<p>三島駅南口東街区エリアの具体的な内容について。どのようなコンセプトのマンションとしていくのか。医療健康の拠点は、具体的にどのような提案・協議を進めているのか。スマートシティも進めていくと考えるが進捗について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 マンション棟のエリアごとの機能・仕様など詳細設計への展開、デジタル化を見据えた高次都市機能の中核を担うと思われませんが具体的にミサワホームJVからどのような街づくりの提案を受けているのか。2 医療の拠点・機能については、どのような提案・協議が進んでいるのか。市民の健康を守る拠点としての機能が街づくりの成功の為には欠かせないと考えるが見解を伺う。3 人に選ばれる・企業に注目される街づくりとしてスマートシティ&デジタル化が必須だと考えるが、全国には先進的な街づくりがある中でどのような街づくりを進めていくのか。4 三島市スマートシティ推進協議会における東街区の街づくりへの役割について。4つの分科会も誕生して活発に議論されて行くと考える。市内の大学・遺伝研・都市計画の専門家・芸術家・市民の代表も加わると更なる議論がなされると考えるが見解は。5 これからの街づくりの為のシンクタンクを創る事について6 エリアマネジメントのひとつである楽寿園の更なる魅力発信について、夜間の活用、一部民間に運営に委託する事などこれからの楽寿園経営について
質問事項2	電子市役所の機能とこれからのについて
具体的内容	<p>来庁時に窓口での混雑緩和、利便性向上など、電子申請の現状と電子市役所の目指す姿などについて。</p> <ol style="list-style-type: none">1 市民の方の来庁などを軽減する電子申請が可能な書類・申請件数も増加していると認識しています。現状と課題と今後の計画。更に取得率が約30%となるマイナンバーカードとの連携について。電子申請時の入力の手簡略化について2 都市のデジタル化・DXは街中の人ではなく、郊外に住む方、高齢の方、ハンデのある方などに情報が行きわたる為に必要とされています、該当する方に必要な情報を届ける為の手段・情報通信機器の整備などをどのようにしていくか。3 書類の電子申請、庁舎内業務の電子化・脱ハンコ化などの計画と結果として職員の窓口負担軽減と業務の見直しについて
質問事項3	小中学校の「置き勉」の現状について
具体的内容	<p>学校に通う児童生徒の荷物を軽くしてほしい。との声から家庭学習で使わない教材を学校に置いて帰る配慮や学期末における学習用具の計画的な持ち帰りの工夫がされています。</p> <ol style="list-style-type: none">1 登下校時のランドセル・中学生の鞆が重いとの声から教科書を学校に置く、いわゆる置き勉の通知がされました、三島市の学校現場の現状と課題についても伺います。